

和合

No.93
2013.6.20

題字：三浦修次



ちよつと、
やんだ〜!

(6/2 町民運動会和合大会)

主な掲載記事

和合ってどんなところ.....	2
ふるさとを想う.....	2
年中行事（行事食）.....	3
和合の里のお地藏様.....	3
老いないために.....	4
和合の交番.....	4
亀治からのメッセージ.....	5
せんせいあのね！.....	6
私の健康・健康レシピ.....	7
地域インフォメーション.....	8

和合ってどんなところ



鶴岡市羽黒第二小学校
五十嵐典子先生

「和合ってどんなところ？」と聞かれて、一番に頭に浮かぶのは、やっぱり、素直な子どもたちの顔。

この4月、久しぶりに四小を訪れた私を見つけて、「お～五十嵐先生だ～。」
「こんにちは。」と声をかけ近づいてきてくれる子どもたちに、とってもうれしくなった。「やっぱり四小の子どもたちはめんごいな～。」と確信した。初めて出会う1年生も、「今日はね。」と話しかけてくれる。そう言えば、あの卒業生たちも、「先生～」と2階の窓から手を振ってくれる子どもたちだったなあ。そんな素直なめんごい子どもたちがいるのが余目四小であり、そんな子どもたちに育てているのが、この和合の里なのだと思う。

おうちの人や地域の人にも、畑の先生に、田植えに、稲刈り…たくさん助けていただき、色々なことを教えていただいた。「吉田堰」を調べたり、「亀ノ尾」を育てて食べたり…貴重な経験をさせていただいたのも、この和合

の里にお世話になったからこそである。

そんなステキな和合の里に、もう少しお世話になりたかったな…と思いつつ、「大好きな学校・大好きな地域」が、また一つ増えたことに感謝！感謝！である。

さて、この3月に卒業した子どもたちとタイムカプセルを作った。8年後に、彼らはどんな姿で開けるのだろうか？きっと、これからもこの和合の里で生まれ、ますます大きくなっているに違いない。その日を楽しみにしながら、遠くから応援していたいと思う。

ふるさとを想う

～ 富樫秀雄さん(本小野方出身 千葉県在住)～

時の経つのは早いもので、私が農家の三男坊として産声をあげてから、もう64年が過ぎました。小学校、中学校、高校と楽しい思い出、冬の厳しい時季を乗り越えて現在の私が在るものと思っております。

上京して無我夢中で生活をしていましたが、挫折を何度も感じました。でも幼少時代の厳しい自然で培われてきた不屈の精神で粘り強く現実に向き合わなければなりません。何しろ冬になると雪が降つもり地吹雪の中、学校に行くには歩くしかありませんでした。この年になってゆとりが出来て田舎の思い出にひたっています。

この三月、和合中学校のクラス会の知らせをいただいたので、平日にもかかわらず東京から参加させていただきました。どの顔も昔の面影を残した幸せあふれる顔をしていましたね。還暦を過ぎた中学校の同窓生12～13人くらいで年に1回「べこの会」なるものに参加させてもらっています。和合地区から6人位参加して中間点で合流し、1泊の旅行を楽しんでいます。旅行中は童心に帰り、方言の氾濫でにぎやかです。

私は現在高校の関東地区在住の同窓会の手助けをしており、その時集まる同志たちが方言や田舎のことを放映したテレビ等の話題で盛り上がり、会議どころでなくなります。どの人もふるさとの話になると目を輝かせて話しています。ふるさと万歳!!

よもぎの年中行事

●つゆけ正月(六月中旬～七月)

六月下旬から七月頃の田の草取りの重労働が続いている頃、朝からかなりの雨が降ったときをねらって実行組合や消防団が「今日はつゆけ正月やろぜ」と音頭を取って部落中で休む。

決まった休日のない時代の臨時休業で、使う方と使われる者の唯一の交渉による休日である。

●土用丑、丑湯浴(七月)

立秋前十八日間の夏の土用は、一年中で最も暑い時期とされ、夏バテ防止にウナギを食す習慣が全国的に行われていますが、余目では昔はドジョウを食べることの方が多かったようです。

また、老人の友だち当番を定めて集まって、丑湯治をしていた。当番では干屋頃から風呂を沸かし待つ。早い人から湯に入り、お茶飲み世間話をして一日楽しく過ごす。

余目町の民俗年中行事より抜粋

★草(よもぎ)餅★

【準備しておくこと】

よもぎは枯れ草やゴミを取り除き、水できれいに洗います。葉だけを摘み取ると、柔らかく口当たりが良くなります。

【作り方】

- ①ボールにもち粉、砂糖を入れ、水を加えながらゴムべらで混ぜる。この時点ではかなりゆるめですが大丈夫。ぬれぶきを敷いた蒸し器に入れて35分程度蒸す。
- ②蒸し上がったならボールに取り出し、熱いうちにこねる。最初は凄く熱いのでヤケドに注意してください。手を冷水につけながら行うといいでしょう。なめらかになってきたら、よもぎを入れ、こねながら混ぜる。
- ③15～20等分し、きな粉を手につけながら丸めて広げ、餡を包んでさらに周りにきな粉をつけて、出来上がり。

《材料》(15～20個分)

- ・もち粉……200g
- ・砂糖……40g
- ・水……160～180cc
- ・よもぎの新芽…茹でて絞った状態で100g(市販の乾燥よもぎなら、水で戻して絞ったもの)
- ・こし餡もしくはつぶ餡…400～500g
- ・きな粉…適量



イラスト：工藤昭子

和合の里のお地蔵様

返吉編

〈語り手〉今野喜一さん

返吉では昔、四月二十四日の地蔵講では露店などもならび、にぎやかな時間を過ごしていた。

部落にお嫁さんが来るとお参りしたり、子宝に恵まれるようにと安産祈願をした。無事に子どもが産まれた時には、赤い帽子と腹巻を地蔵様に授け、感謝し、大きく丈夫に育つようにと祈りを捧げた。

部落に授かった子どもたちが多かった時期は、お地蔵様のお腹もぺんぺんと大きくなっていったように見えたという。今は少子化でお地蔵様のお腹はぺしゅんこだと話している。

お地蔵様は現在、返吉部落の公民館に位置しているが、川の改修工事などにより、三回ほど移動している。部落で三つに分かれ持ち回りでお地蔵様を守り続けている。



〈聞き手〉富樫

とし
“歳” としても、老いないために!!

脱水を予防するには

成人の場合、食事も含めて一日2.5リットル以上の水分を補給する必要があると言われています。高齢者の場合、これだけの水分を飲み物だけでとることは難しく、水分量の多い食事を心がけることも大切です。

脱水予防のポイント

- ① 飲水できる方は、食事以外にも定期的にお茶を飲むように習慣をつけましょう。
- ② 飲水がむずかしい方は、とろみを付けると飲み込みやすくなります。
- ③ とろみを付けても飲水がむずかしい方は、脱水症状の程度に応じて早めに医療機関で点滴による水分補給が必要なので主治医に相談しましょう。
- ④ 脱水症は年中おきる可能性があります。夏季には危険性が高くなるので、周囲の方が気を付け、水分補給しやすい環境を作ってあげましょう。



脱水が原因で「口が渇く」「皮膚が乾燥する」などの症状がでることもありますので、高齢者や乳幼児のいる家族や介護者は、食事と水分摂取量を観察してあげることが大切です。

高齢者総合相談窓口(介護相談・心配事などお気軽にご相談ください)

庄内町地域包括支援センター
(介護センターほほえみ内) TEL 45-1030

庄内町地域包括 立川サブセンター
(庄内町役場立川庁舎内) TEL 51-2505

和合の交番



「運転経歴証明書」交付制度のお知らせ

今後、運転免許証を必要としなくなった方が、有効期間が経過する前に免許証を自主的に返納した場合、申請により「運転経歴証明書」の交付を受けることができ、本人の身分証明書として使用することができます。

詳しくは、最寄りの警察署又は総合交通安全センター(電話023-655-2150)にお問い合わせください。

運転免許証を自主返納



本人の申請により運転経歴証明書を交付

氏名	日 本 花 子	昭和10年 6月 1日生
住所	東京都千代田区霞が関2-1-2	
交付	平成 20 年 06月 03日 12345-1	
運 転 経 歴 証 明 書		
二小種	平成 05 年 07 月 01 日	種 - 中 型 - - - -
他	平成 07 年 08 月 10 日	種 - - - - -
二種	平成 14 年 09 月 20 日	種 - - - - -
		〇〇〇〇〇 公安委員会

※ 申請には、1,000円の交付手数料が必要となります。

亀治からのメッセージ

亀ノ尾の里資料館

●企画展「農耕絵馬展」が始まります。

亀ノ尾の里資料館では、今年度最初の企画展「農耕絵馬展」の開催に向けて準備を進めています。資料館では平成23年度から、庄内町指定文化財の絵馬を中心に地域の神社に奉納されている絵馬を公開してきました。今年はその集大成として当館の主展示である農業の歴史にスポットを当て、庄内町のみならず鶴岡市・三川町・酒田市から「農耕絵馬」を集め公開します。普段見ることのできない貴重な絵馬をこの機会にぜひご覧ください。

開催期間：7月13日(土)～8月25日(日)
 時間：午前9時00分～午後9時00分
 入館料：無料 ・休館日：7月29日(月)
 ギャラリートーク：8月初旬を予定 午後1時30分～
 場所：亀ノ尾の里資料館展示室
 講師：庄内町郷土史研究会 会長 日野 淳氏



歴史民俗資料館

●縄文時代にタイムスリップ!!

歴史民俗資料館は、今年も7月1日(月)～8月31日(土)まで開館します。展示室には旧立川町「早坂台遺跡」から出土した考古資料(土器や石器など)を展示します。休憩するためのイスやテーブルもご用意。遠く縄文時代に思いをはせてみませんか？



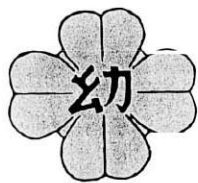
●道具図鑑：稲作農事歴によると6月の農作業は除草。今回は、除草機を紹介します。



雁爪(がんづめ)：雁爪は、稲の株と株の間に打ち込み、掘り返して雑草を土中に沈める除草道具。除草のほか、土を掘り返すことで、中耕の作用がある。阿部亀治も雁爪除草を奨励し普及を図った。雁爪には、長柄付、中柄付、短柄付の3種類があり、爪は3本と4本のものがある。

亀治の目

近年、私たちの生活はとても便利になった。車社会、コンビニや宅配便、携帯電話、インターネットの普及など田舎と都会の差は縮まりつつあるような気がする。時間に追われる忙しい毎日。ちょっと昔、農家の生活も朝から晩まで働く忙しい毎日だったが、時間の流れはゆっくりおだやかで、人々とのふれあい、ぬくもりがたくさんあったように思う。日頃の忙しさを忘れ、スロースライフを楽しみたい。



よつぱっこ通信 第四幼稚園

せんせい、あめね!



～給食の時間～

- A男** 「きょうドラえもんあるね。」
- T(先生)** 「こういう道具だしてほしい？」
- B男** 「タケコブター」 **C子** 「どこでもドア」
- D男** 「インスタントコピー機は？
のび太のお母さんがいっぱい出てきたっけよ」
- T(先生)** 「それいいね！洗濯するお母さん、ご飯作るお母さん、掃除するお母さん、いっぱいいると助かるね〈実感!〉」
- E子** 「えーやだ!!」
- T(先生)** 「どうして？いっぱいいるといいんじゃない？」
- E子** 「だって、いっぱいのお母さんがいたら、いっぱい怒られるかもしれないもん」
- みんな** 「あはは 〈笑い〉」

第四幼稚園の周りの田んぼは、もうすっかり稲が青々として見ているだけですがすがしい気持ちになります。身近に田んぼや畑のある子ども達は、田んぼの田植えが始まると、大人と一緒にうきうきしてくるのがわかります。「きょうは家に帰ったらじいちゃんの手伝いだ」「うちでもじゃがいも植えたよ。もっと大きくなったよ」そんな会話がごく自然に聞かれます。いつも身近で目で見て、手で触って、匂いを感じる、そんな生活が子ども達の心を豊かにしてくれていると感じています。

田んぼ道を歩いて散歩に出かけています。先生たちも初めての田んぼ道で、ワクワクドキドキしながら楽しんでます。田んぼのあぜ道を慎重に慎重に歩いていたのにドボッと足が泥の中に…。「足が抜けないよ」泥んこの足になった子もいました。「カエルの卵発見!」「やった!!」先生たちも大喜び。「あしたカエルになっているかな？」と覗き込む子ども達。

「この道どこにつながっているのかな？」今度は、田んぼ道を通して近くの地域まで探検にいきます。

～四小っ子～ 第四小学校 ぼくにも抱っこさせて～!

今年の春、朝日小学校から来た、佐藤智子先生とのご縁で可愛い5羽のうさぎがやって来た。

5月には8羽の赤ちゃんうさぎの姿も見られ、13羽の大家族となり、とてにぎやかになった。

中間休みや下校の時間になると小屋の前はうさぎに会いに、子どもたちでいっぱいになる。どのうさぎも愛らしく、体を丸くして昼寝をしている姿を見ていると、本当に癒される。今では、中庭でうさぎと触れ合える時間もあり、子どもたちは大喜び!! 抱っこの順番を待ったり、クローバーをあげていたり……。生き物と接することで、思いやりの心を育み、生命の大切さを学んでいる。



私の健康

菅原 堅一さん (返吉)



昭和一桁代に生まれ、今、八十路の域に達し元気に生活できることは「高齢者のとびっきり元気なまちづくり」をすすめている行政をはじめ、多くの地域の人々のあたたかい力添えをいただいている結果だと思い、ありがたく感謝しながら暮らす日々であります。

さて、私の健康というと、とくに人前でいえる程のことは何もありませんが、私なりに多少心掛けているのは身体の健康の基本である食生活であります。

若い頃の暴飲暴食ともいえるような不摂生な食生活を繰り返し、健康には逆効果な食生活を反省しながら、脂質の多い食材はできるだけ減らし、老後の運動も兼ねて作っている野菜を中心にした腹八分目の食生活に努めている昨今であります。

す。

豊かな老後の生活を送るためには身体と心の健康を保つことだといわれますが、どうしても年をとると、こもりがちになります。こもらないようにするには集落の会合や行事に出たり、その他多くの会合にも参加し、人々のお話を聞くようにしております。後の反省会の楽しい話題は心の健康に最適です。

八十代になって若い大勢のみなさんと一緒にグラウンドゴルフを楽しんでおりますが、秀峰月山に連なる山々や、広々とした田園の四季折々に変わる美しい景色を眺めながらプレーしていると身体も心も癒されます。

八十歳からでも遅くはないという気持ちで何事にも挑戦できるようこれからも健康維持に努力していきたいと思っております。

健康ししぴ

フライパンで作るホットカレーまん



◎材料 (4個分)

生地 ホットケーキミックス……………150g
牛乳……………60cc
サラダ油……………大さじ 1/2
カレー粉……………小さじ 1
マドレーヌカップ……………4枚
※打ち粉用の小麦粉……………適量
●中の具はキーマカレーです

◎作り方

- ① ボールに材料を入れて指先で混ぜ、全体を丸くまとめる。
まな板に打ち粉用の小麦粉を少々ふって生地を置き、手のひらの付け根で押すようにして生地をこねる。(ベタベタする場所には打ち粉をまぶしながら)表面がなめらかになるまで5分ほどこねる。
- ② ①の生地を4等分にして丸め、手で押しながら12cmくらいの円になるように広げる。
- ③ のばした生地を中心に具をのせ、具がはみ出ないように指でつまんで閉じてカップに入れる。★閉じ口に具の油がつくと閉じにくくなるので注意!!
- ④ ③をフライパンに間隔をあけて並べる。お湯3/4カップを注ぎ、すぐにふたをして弱めの中火にかける。水がなくなるまで10～12分蒸し焼きにする。ふたをとって火を強め、水分をとばす。中心にさした爪楊枝が熱いことを確認したら出来上がり。
★蒸し器で作るときは、蒸気が上がってから弱めの中火で約15分蒸す。



「和合No.90」に
キーマカレーの
作り方が載って
います!!

地域インフォメーション!!

緑組だんとつ!

6月2日(日)、第8回庄内町町民運動会和合大会が行われた。

昨年度準優勝の緑組、第7班。今年は何がなんでも優勝旗を取り返そうと競技前半からすでにトップをキープしていた。桃組の第5班も三連覇への意気込みをみせ、徐々に得点をかせいでいった。しかし、班対抗リレーの女子は2位、男子は1位と得点に圧倒的な差をつけ、だんとつ優勝へと返り咲いた。

子どもたちの大きな声が響き渡っていた応援合戦は、同点数が3チームあり、紫組の第4班・桃組の第5班・緑組の第7班が最優秀賞に輝いた。

小学生児童の徒競走では、3年生女子100mの富樫心春さん(福島)、6年生女子100mの瀬川美桜さん(南野)が大会新記録を出し、表彰を受けた。

子どもからお年寄りまでふれあい、和合の里が一つになった一日だった。

運動会での、ひとコマ、スナップ♪を展示しています。ぜひどうぞ!!



ボール、でっけえ～



5/25(土)、少年教室Jr.カレッジWAGO!!の子どもたちとニュースポーツ体験と中庭の花植えをした。

4人一組となりプレーするキンボールの大きなボールを手にした子どもたちは、「おもでぐで、一人でな持だいね～」といいながらも元気いっぱい講堂を走り廻っていた。カローリングでは、的に向かって集中、集中。楽しい時間を過ごした。

その後、公民館中庭いっぱい花植えをした。花苗を手にした子どもたちは手際よく、みんな協力し、作業することができた。カラフルに彩られた中庭は訪れた人の目を楽しませている。

編集後記

嬉しい出来事があった。町民運動会でのひとコマだ……

それぞれの班が大人と子どもが一つになり繋がっていた。競技役員として大きな力となった中学生、チームのために競技にも参加してくれた。一人ひとりが地域の一員であること、責任を持って仕事をしてくれたこと。力強いパワーが伝わった。一番は、みんなが大きな声であいさつをしてくれたこと。本当に暖かい気持ちになった。和合の里の子どもたちの元気な姿に会えた一日だった。

